

小鹿野町 議会だより

第84号

令和8年8月1日発行

発行/小鹿野町議会
編集/議会だより編集委員会

小鹿野町議会
HPはこちら→



札所第31番 観音院

札所第32番 法性寺

Contents

6月定例会（6/9～11）

○議案審議の内容 ②～③

両神清滝ヒュッテ新築工事、旧両神運動場貸付、
小鹿野町議会会議規則の一部改正など

○議会審議結果 ④

町長提出議案11件、議員提出議案5件を全て原案可決

○一般質問（8名） ④～⑧

秩父札所午歳総開帳

秩父三十四ヶ所観音霊場では、12年に一度の午年に「総開帳」が行われています。秘仏である御本尊が公開され、繫がれた「お手綱」に触れることで深い功德を授かれる貴重な機会です。

小鹿野町内には2つの札所があります。この特別な年に、町内の札所を巡ってみませんか。



が上程され、全て原案可決

議案審議一覧は
4ページをCHECK!

議案Pick up

議案	町有財産貸付契約の締結について
概要	旧両神運動場（旧両神中学校校庭）を株式会社ベンチャーウイスキーの熟成蔵用地として貸し付けるものです。
貸付物件	旧両神運動場（旧両神中学校校庭）
所在地	秩父郡小鹿野町両神薄2900番地ほか（9249.92㎡）
月額使用料	253,265円
貸付期間	令和8年9月1日から令和18年8月31日まで
借受人	株式会社ベンチャーウイスキー 代表取締役 肥土 伊知郎



旧両神運動場（旧両神中学校校庭）

【討 論】



10番 出浦 正夫

反対討論

旧両神中学校の校庭をベンチャーウイスキーに貸付けるというのですが、企業側は「10年後も更新する、最終的には買い取ってもいい」と述べており、実質的に半永久的な貸付となります。

100有余年の歴史を持つこの広大な公有地は、今後同規模の土地取得は不可能です。次の世代に引き継ぐことが私たちの責務です。

賃貸料が不当に低く、企業提示額に交渉もなく合意した結果、10年で1,412万円超の減収となります。町有財産を相手の言い値で貸してしまう姿勢は問題です。この貴重な財産を半永久的に手放すことのないよう、強く訴えるものです。



5番 今井 敏夫

賛成討論

小鹿野町と両神村が合併して20数年。両神地域は発展がなく、村役場、中学校、小学校と次々となくなってきました。ベンチャーウイスキーが両神中学校の校庭に貯蔵庫を作ること、大変ありがたいことです。

コロナ禍から、秩父郡内の飲食店や小売業の方々は、ベンチャーウイスキーを求めるお客さんのおかげで何とか息がつけました。人口減少で地価は毎年下がっており、10年間この金額で推移できることは素晴らしいことです。この事業を通じて地域の活性化と観光振興を実現できると考え、本議案に賛成いたします。



12番 加藤 喜一

賛成討論

役所は一般的にスピード感到に欠けますが、今回、世界的企業が手を挙げた際に、半年あまりで決断したことは商魂たくましいと言えます。

現代の商売の基本は「いかに良い製品を安く売るか」です。いち早く世界的企業を誘致するための決断は素晴らしいことです。ウイスキーは5年、10年、30年と熟成され、時間とともに価値が高まります。

10年の契約期間は、単なる貸付ではなく、小鹿野町に一つの企業を残す事業です。これは素晴らしいことだと考え、本議案に賛成いたします。



9番 皆本 富男

賛成討論

両神中学校は昭和22年に開校し、68年の歴史に幕を閉じました。閉校から10年、町村合併から21年が経過しましたが、利活用として大した進捗がありませんでした。

激変する世界経済のなかで、補正予算を組んでこの事業に取り組んだことは、適切な判断だと考えます。時代の変化に対応するには、スピード感が重要です。

ベンチャーウイスキーとワイン工場により、観光振興と地域の活性化につながることを期待しています。



11番 岩田 和幸

賛成討論

この会社に決定するプロセスには問題があったかもしれませんが、この会社は企業として問題はないと考えています。

以前、ある会社を役場の職員が調べにいったところ、ペーパー会社だったということがありました。

そのような会社と違い、海外にも名の知れた立派な企業だと思っています。



6番 高橋 耕也

賛成討論

閉校となった学校施設や土地の活用は重要な課題です。ベンチャーウイスキーは世界的に高い評価を受ける企業であり、秩父地域の知名度向上や観光振興に貢献してきました。

遊休地のグラウンドを有効活用することで、維持管理費の軽減、雇用創出、交流人口の増加などの波及効果が期待されます。

使われなくなった土地を眠らせるのではなく、未来への投資として活用することが重要です。この決断は、小鹿野町の新たな可能性を切り開くものであると確信しています。

審議結果

賛成：10

反対：1

可 決

町長提出議案11件、議員発議5件

議案Pick up

議案	工事請負契約の締結について
概要	既存施設を解体撤去した跡地に、新たな山小屋(休憩拠点)として両神清滝ヒュッテの新築工事を行うものです。
工事名	両神清滝ヒュッテ新築工事
施行箇所	秩父郡小鹿野町両神薄地内
工期	令和8年6月11日から令和8年12月25日まで
請負代金	91,850,000円
請負業者	石田工務店株式会社 代表取締役 石田 正士



【イメージ図】両神清滝ヒュッテ

審議結果 **賛成：11** **反対：0** **可決**

【討論】

11番 岩田 和幸

反対討論

本案の中身には反対ではなく、内容が不十分だと考えて反対します。

議員の提案権について、小鹿野町議会会議規則第14条は地方自治法第112条の趣旨に反しています。法では12分の1で議員提案が認められ、現在の議員定数12人では1議員での提案が可能です。しかし規則では他1名必要とされており、法の趣旨より厳しくすることは問題です。

1名での提案を認めることで若者の議員志望を促進できます。

議案	小鹿野町議会会議規則の一部を改正する規則
提出者	皆本 富男
賛成者	黒沢 武・栗原 勇雄・猪野 茂・湯本 弘子・今井 敏夫 高橋 耕也・笠原 義行・出浦 正夫・加藤 喜一
概要	議会に係るオンライン化に対応した標準町村議会会議規則の一部改正に伴い、町議会の会議規則の改正を行うものです。

審議結果 **賛成：10** **反対：1** **可決**

議会全員協議会

5月12日 出席者 議員11名 欠席者 加藤 喜一 議員

町からの報告事項

- ・両神清滝ヒュッテ新築工事について
- ・小鹿野町空き公共施設活用事業(旧長若小学校)について

その他

- ・地域医療連携推進法人彩の国ハピネス会について
- ・海外交流事業について
- ・小鹿野町空き公共施設活用事業（旧両神中学校校庭）の進捗状況について
- ・倉尾地区乗合タクシー運行について
- ・ふるさとワーキングホリデーの実施について
- ・小鹿野町消防団第1支団第7分団詰所新築工事（再1）の進捗状況について（現第1支団第3分団）
- ・新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂について
- ・旧第1支団第7分団詰所解体について

5月25日 出席者 議員12名

議題

- ・小鹿野町議会関係例規の改正について
- ・議会のインターネット配信について
- ・ペーパーレス会議システム導入について

予算・条例等の審議結果

(○は賛成、●は反対した議員)

議 案 名		黒 沢 武	栗 原 勇 雄	猪 野 茂	湯 本 弘 子	今 井 敏 夫	高 橋 耕 也	笠 原 義 行	高 橋 謙 治	皆 本 富 男	出 浦 正 夫	岩 田 和 幸	加 藤 喜 一
6 月 定 例 会	専決処分の承認を求めることについて (小鹿野町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	※ 高橋謙治議員は議長のため採決に加わっていません (可否同数の場合は議長裁決となります)	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて (小鹿野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて (小鹿野町一般会計補正予算(第8号))	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて (小鹿野町浄化槽設置管理事業会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度小鹿野町営国民宿舎事業会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	小鹿野町新型コロナウイルス感染症対策 中小企業融資資金利子補給基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和8年度小鹿野町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和8年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和8年度小鹿野町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	町有財産貸付契約の締結について(旧両神運動場)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●	○
	工事請負契約の締結について(両神清滝ヒュッテ新築工事)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	小鹿野町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	小鹿野町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	小鹿野町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●	○
	小鹿野町議会傍聴規則の全部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	ゲノム編集技術応用食品の必要な情報提供等の在り方について 検討を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。

町政に対する一般質問

一般質問一覧(質問順)

岩田 和幸 ①義務教育について ②町営住宅について ③公共物の今後について	出浦 正夫 ①旧両神中学校・旧両神保育所に関して ②イラン情勢下の物価高騰対策について ③公共交通移動の自由保障について ④訪問介護サービスについて ⑤林業施策について
栗原 勇雄 ①健康づくりについて ②小鹿野町役場の現状について	笠原 義行 ①学校教育および教育施策について ②行政デジタル改革について
加藤 喜一 ①地上デジタルテレビ放送の共聴施設の維持管理について ②安心安全に暮らせる町づくりについて	猪野 茂 ①町の体育施設について ②林野火災警報について ③オートバイによる町おこし事業について ④小鹿野高校の存続について
黒沢 武 ①持続可能な福祉体制の構築について ②小鹿野町教育の在り方について	高橋 耕也 ①商店街側溝の悪臭対策について ②選挙投票支援について

○ 5～8ページに各議員から提出された一般質問の要約を記載します(岩田議員から一般質問要約の提出はありませんでした)。

町政に対する一般質問

6月
定例会



人口減の先、 秩父の最強へ小鹿野町

栗原 勇雄 議員

質 小鹿野町を元気にする

ためには、町民一人ひとりの健康が重要だと考え

ます。町では、令和8年度より、保健課より健康づくり課に変更するなど健康の重要性を認識していることが伺えます。健康事業に関して今後の展開について伺います。

答 今年度よりウォーキング教室の開催及び在宅高齢者食生活実態調査を行い、介護予防に繋がりたいと考えています。「いきいき館」をはじめとした既存の施設・事業を最大限に活用しながら、町全体で健康づくりに取り組む環境の整備をしてまいります。

質 近年、役場職員の退職が続いていますが、この

状況をどのように捉えているのか、考えを伺います。

答 (町長) 職員の退職が

づいていく状況には強い危機感を持っており、そこで昨年より私と職員との一対一の面談を実施しております。これは、職員と率直な対話を行う場です。私自身の強いリーダーシップで、役場で働いて良かったと思えるよう全力で取り組んでまいります。

(副町長) 職員の退職が続

く現状につきましては、現場を統括する身として強い危機感を抱いております。今後は、職場環境の再点検を行い業務の効率化や、対話の機会を増やし、相談体制の強化を



中山間地域の課題解決に向けて、テレビ受信と高齢者支援

加藤 喜一 議員

質 令和8年1月のテレビ

実証実験を受けて、町の方針と中山間地への取り組みは決まりましたか伺います。

答 総務省が実施した実証

実験は、共聴設備を活用し地上デジタル放送を衛星波で送信・受信するもので、現時点では結果公表待ちです。町は無償の

図り環境改善に自ら率先して取り組んでまいります。

(教育長) 職員の退職は大

変残念であり、人材育成の面からも重要な課題であると考えております。

これからは、業務指導、相談体制、支援体制の充実を図り職員が安心して意欲的に働くことができ、力を十分に発揮できる組織づくりに努めてまいります。

質 町独自で難視聴問題を

技術的支援に5つの自主共聴組合と共に応募中です。

解消する対策は、どのように進展していくのか伺います。

答 放送行政は国が責務を

担うため、町単独での抜本的解決は困難です。令和5年度より、自主共聴組合に対してNHK共聴組合との負担格差を是正する補助を実施しました。国や県に継続的に要望活動を行っております。

質 老々世帯や独居老人世

帯の見守りはどのように行っているか伺います。

答 高齢者見守りネットワ

ーク推進会議を設置し、民生委員による定期訪問と緊急通報システム無償貸し出しを実施しております。

質 デジタル機器を活用した見守りサービスは検討

しているか伺います。

答

デジタル機器活用は中山間地域こそ活用すべき技術と考えています。人口減少と担い手不足から、今後積極的に検討する課題と認識しています。

質

町立病院でオンライン診療は実現できるか伺います。

答

オンライン診療には、デジタル機器整備に加え情報セキュリティ確保、医師研修、診療体制整備が必要です。現在、施設基準を満たせず実施できませんが、在宅医療でのオンライン診療実施に向け取り組む予定です。





「誰一人取り残さない小鹿野町へ」
持続可能な福祉と教育の充実
を問う」

黒沢 武 議員

【質】 ヤングケアラーの早期発見と支援体制について伺います。アンケート調査により、直ちに支援が必要なケースは把握できたのでしょうか。

【答】 令和8年2月に町独自アンケートを実施し、各年代でヤングケアラーに該当する可能性のある児童生徒を把握しました。しかし、直ちに支援が必要なケースの確認には至っていません。今後は学校や福祉課、地域包括支援センターなどと連携し、具体的な支援体制づくりと相談窓口の周知を進めます。

【質】 部署が随時「個別支援会議」を開催し、必要に応じて県福祉事務所や外部機関とも連携しながら支援を行っています。

【質】 介護人材確保のため、ICT・介護ロボット導入が進まない要因を町独自で調査する考えはありますか。

【答】 補助制度は県事業であるため、町単独での調査は現時点では想定していませんが、必要に応じて県と協議しながら対応を検討しています。

【質】 不登校児童生徒への支援方法は、どのように決定していますか。

【答】 学校内で児童生徒の状況を協議し、別室登校や短時間登校、自宅学習などの方向性を決定した上で、保護者と十分に相談しながら個々に応じた支援を進めています。

【質】 重層的支援体制について、複合的な課題を抱える世帯への連携はどのようになっていますか。

【答】 相談を受けた担当課が中心となり、福祉課、保健課、こども課など関係

【質】 持続可能な福祉体制と教育について町長の所見を伺います。

【答】 町長は、高齢者や子どもなど社会的弱者を支えることが自治体の重要な使命であると述べるのと

もに、不登校についても学校だけが学びの場ではなく、多様な学びを通じて社会で自立し活躍できる人材を育成していくことが重要との考えを示しました。



公共交通充実で、移動の自由保障を

出浦 正夫 議員

【質】 公共交通移動の自由保障について伺います。倉尾地内で乗合タクシーの実証実験が始まります。町として明らかにすべき実験目的はなんですか。

【答】 本実験は、実際の運行を通じて運行に対する改善点を把握することです。予約方法、運行本数、乗降場所など、実運行の中で見えてくる課題を丁寧に検証し、今後の本格運行に向けた改善に活かしていきます。

【質】 乗合タクシーの利用には登録が必要ですが、倉尾地区住民の133人が登録していると伺っています。さらに登録者を増やす必要があると思いませんか。

【答】 様々な機会を通じて利用者登録を増やす努力を

【質】 今後、町民・来訪者に対して移動手段の保障はどのように考えているか、計画を伺います。

【答】 小鹿野町地域公共交通計画では、西武観光バス小鹿野線は、町にとっても大切な路線であるため、将来的にも維持することを基本とし、一方で、利用者の少ないバス路線を見直すなど、状況に応じた効果的で効率的な運行体制の構築を目指すこととしています。

【質】 町営バスの長若經由西武秩父駅線・三峰口線の廃止については、来訪者の関係等を考え慎重に行うべきですがいかがですか。

【答】 町営バス路線については、直ちに廃止でなく慎重に検討していく考えであります。





次代へ歩む 新小鹿野町の創造

笠原 義行 議員

学校教育について

質 3月16日に起きた辺野

古沖抗議船転覆事故をきっかけに、学校等での平和に関する教育において政治的、思想的に偏った教育がなされていたことが判明しました。

当時の教育現場では、いわゆる平和学習といわれる分野で、どのような教育が行われているのか伺います。

答 本町の学校教育におきましては、国が定める学習指導要領に準拠した教育課程を厳格に実施しており、特定の政治的立場や思想に偏った教育は行っておりません。

学習指導要領の社会科学の目標として、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、

広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成すること。」が掲げられております。

具体的には、中学校の社会科学における歴史的分野及び公民的分野において、戦争の歴史や日本国憲法の平和主義、基本的人権の尊重、民主主義の仕組みなどについて学習しております。

また、映像教材を活用しながら、戦争による被害や人々の暮らしへの影響、命の尊さなどについて学び、多様な考え方に触れながら、自ら考え、判断する力を育成しております。

こうした学習を通して、

児童生徒が平和の尊さや命の大切さについて理解を深めるとともに、他人を思いやり、尊重し、平和な社会の実現に向けて主体的に考える態度を育むことを目指しております。

質 文科省の報告書（教育基本法第14条2項違反認定）を受け、教育現場が委縮するとの意見がありますが教育現場が委縮するとお考えですか。

答 当町では委縮するとは考えておりません。



持続可能な 小鹿野町を目指す

猪野 茂 議員

質 体育施設の利用状況と、高温対策や維持管理について伺います。

答 体育施設は、年間約12万人が利用していて、高い利用率のもと熱中症対策や施設の維持管理は喫緊の課題でもあり、今後

も高温対策や健康管理の啓発や修繕に努めてまいります。

質 林野火災警報の取扱いとその周知方法について伺います。

答 林野火災警報は今年2月1日より運用が開始さ

れ、警報期間は1月1日から5月末日までとなります。発令時には屋外における火の取扱いが制限され、従わないと罰金や拘留に処せられます。町

としては、本警報の周知や発令時では防災行政無線での放送、安心・安全メール等を通して町民への迅速かつ確実な情報伝達に努めます。

質 オートバイによる町おこし事業への活動支援について伺います。

答 オートバイによる町お

質 小鹿野高校存続について伺います。

こし事業は、当初町主導により開始されてから20年目を迎え、多くのライダーが当町に訪れるなど地域活性化に資する事業として、二輪業界からも認められております。今後バイク関連企業とのパートナーシップ協定や企業版ふるさと納税など活用し、人的支援を含め地域活性化のため更なる充実と発展に努めてまいります。

答 小鹿野高校入学者の減少が続く中、小鹿野高校存続は教育環境や将来を担う若者の定住など、極めて重要課題でもあります。山村留学制度は令和8年度以降は新規受入を行わない事となりましたが、今後も高校の魅力化プロジェクトを通じ、「魅力化の好循環」を求め、高校の魅力化と存続に向けて、埼玉県や県教育委員会など関係機関へ要望してまいります。



暮らしの環境改善と
誰もが参加できる
選挙環境について

高橋 耕也 議員

商店街側溝の悪臭対策について

近年、商店街周辺の側溝において悪臭が発生しており、地域住民や来訪者からも改善を求める声が寄せられております。これまで町においても対策を講じていただいているところですが、現状と今後の対応について伺います。

令和6年にもご質問いただきまして、雨水などの流れ込みを促し、汚水を流す等の考えでグレーチングの設置などを施してきました。悪臭に関しては様々な要因が考えられます。今後はさらに調査を進め、県土整備事務所とも協議して改善を図ってまいります。

選挙投票支援について

選挙は民主主義の根幹であり、障害の有無に関

わらず、すべての方が安心して投票できる環境整備が重要であると考えます。特に視覚障害者の方においては、投票所での情報取得や投票行為に不安や負担を感じる声や、期日前移動投票車について投票までの期間が短いとのご意見が聞かれます。が町の見解を伺います。

現状の投票支援をさらに充実して、投票者のプライバシーの保護等にも一層の配慮を図って参ります。移動投票の期間延長に関しては、車両の増台や人員増員が難しく、現状で効果を図りながら改善も考えてまいります。

投票所へのタクシーサービスなどもございますので、それらのサービス利用等わかりやすい周知にも取り組んでまいります。

議長交際費の公開 令和8年4月～6月

5月10日	西秩父ライオンズクラブ結成五十周年記念式典 会費	15,000円
5月11日	令和8年度小鹿野第1老人クラブ総会	3,000円
5月29日	秩父地域議長会定期総会・正副議長歓送迎会 会費	14,000円
5月30日	令和8年度小鹿野町消防団幹部団員顔合わせ	7,000円
6月4日	小鹿野町観光協会総会・懇親会 会費	5,000円
6月19日	令和8年度小鹿野町国際交流協会総会・懇親会	5,000円
6月29日	おがのシルクロード商店会第9期通常総会・懇親会	5,000円
6月30日	両神農林産物直売所組合総会・懇親会	5,000円
小計		59,000円
令和8年度 支出合計		59,000円

議会の傍聴をしませんか！

町の議会は、年4回の定例会（3月・6月・9月・12月）と、必要に応じて臨時会が開かれます。町政の動きを知るためにも、気軽に傍聴してください。

次回定例会は、9月上旬に小鹿野町役場で開催予定です。

※役場内町民ラウンジ、小鹿野文化センター、両神振興会館（旧両神庁舎）のテレビモニター中継もご利用ください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。ぜひ、ご利用ください。右のQRコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。

小鹿野町議会
HPをCHECK！



編集後記

六月定例会を終え、今号をお届けしました。

一般質問では、暮らしに身近な課題から将来を見据えた提起など、活発な議論が行われました。

町民の皆様の声を、町政へ届けることが議会の大切な役目です。

物価高や防災など課題は山積ですが、一つ一つ丁寧に議論を重ねながら、より良い町づくりへ歩みを進めます。

暑さ厳しい季節、体調管理に留意され健やかに過ごしていただければ幸いです。

引き続き議会へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

高橋 耕也



議会だより編集委員会

委員長 笠原 義行
副委員長 栗原 勇雄
委員 高橋 謙治
高橋 耕也
湯本 弘子
黒沢 武

” ” ”